

AC・Net ニュース

NO. 151
2007年
9月10日

Human Network for Researchers toward Advanced Telecommunications

初秋の候、皆様には益々ご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。

7月に行われました「産学連携と関西経済同友会の提言について」をテーマにした講演会には多数のご参加をいただき、誠にありがとうございました。

次回9月の例会は、兵庫県先端情報通信技術推進会議共催で「環境と経済の両立・持続型文明社会の構築とICT」に関する講演を下記の通り予定しております。ご講演の後、初めての試みとしてパネルディスカッションを予定しております。皆様ふるってご参加いただけますよう、ご案内申し上げます。

☆ 9月の例会 ～兵庫県先端情報通信技術推進会議共催～

日 時： 2007年9月28日(金)

会 場： 阪急ターミナルスクエア・17

講演会&パネルディスカッション：15:00～17:00 「ふじの間」

「ローマ・クラブモデルを超えて」

同志社大学 工学部 教授

下原 勝憲 氏

「環境と人間のシミュレーションモデル構想とその具体化」

会津大学 コンピューター理工学部 教授

小佐野 峰忠 氏

懇親会： 17:15～18:30 「さつきの間」

第168回 AC・Net 例会（9月28日）

～ 兵庫県先端情報通信技術推進会議共催 ～

【講師】 下原 勝憲 氏
同志社大学 工学部 教授

【演題】 「ローマ・クラブモデルを超えて」

【概要】

地球環境問題が深刻となる 21 世紀においては、人間が自然を支配する文明のエートスに代えて、人類が自然と調和した持続可能な文明を追求する、そうした新たな文明のエートスが必要ではないか。文明のエートスは、人間の存在そのものと言ってよい。私たち一人一人の自然観、歴史観、さらには地球観が変わらないかぎり、新たな文明を創造するエートスは生まれてこない（同志社大学 工学部「21 世紀の環境・経済・文明」事業より抜粋）。

21 世紀の未来を予測するローマクラブのシステム・ダイナミックモデルでは稲作漁労民の持続型の再生と循環の世界観が無視されている。そのローマ・クラブモデルを超えて持続型文明社会を構築するにはどうしたらいいかについて問題提起を行う。

【略歴】

1978 年九州大学大学院工学研究科修士課程修了。NTT コミュニケーション科学基礎研究所，国際電気通信基礎技術研究所（ATR）人間情報科学研究所長，ATR ネットワーク情報学研究所長を経て，2006 年 4 月より同志社大学工学部情報システムデザイン学科 教授。博士（工学）。研究分野は社会情報学，進化システムと人工生命，ゲノム情報学，ヒューマン・システム・インタラクションなど。

【講師】 小佐野 峰忠 氏

会津大学 コンピューター理工学部 教授

【演題】 「環境と人間のシミュレーションモデル構想とその具体化」

【概要】

多くの人々は21世紀が始まると、世界中がテロとの戦い、地球温暖化、人間の命の軽視など、夢とは異なる様々な事象が現れるなかで、人類のこれからの歩みについて真剣に考えはじめた。その中で、環境問題は、今、人類が解決しなくてはならない最重要な問題となってきた。このことは世界の多くの人々の認識が飛躍的に高まってきたことによる。その最大の要因は加速されるコンピュータ・サイエンスの確立であった。

この講演では、コンピュータ・サイエンスの立場からシミュレーションモデルを用いてこれらの人類の重要な問題に如何に貢献できるかについて述べる。このシミュレーションによる擬似世界のモデルは、現在の環境問題の様相を明らかにし、その解決をはかる方策を探ることが期待されるからである。

【略歴】

東京理科大学理学部卒業
東京大学にて工学博士取得
東京大学 工学部 電気工学科 助手、講師
県立会津大学 コンピュータ理工学部 助教授
現在：会津大学教授、ソフトウェア工学講座



* AC・Net 7月例会講演会 ～講演会のアンケートから～



テーマ：「産学連携と関西経済同友会の提言について」

演題：「知的財産」、「産学連携」、「イノベーション」
—変わる研究開発のあり方—

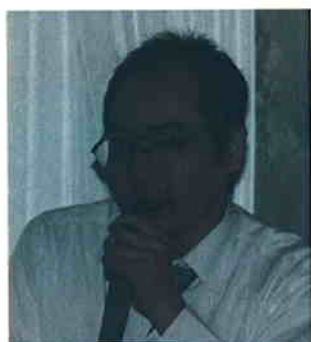
講師：日経BP知財 Awareness 編集長
長廣 恭明 氏

- 研究者の研究環境の変化については実感を持って拝聴した。研究者に求められる能力を教育育成することが大切と再認識した。
- 最近良く売れる商品の開発の為に研究開発が重視されている。今回は知的財産の宝庫といわれる大学との連携による最近の新しい取り組みについての説明があり、その状況と考え方がよくわかった。
- 日本が持っている技術をもう一度統合して新しい分野の開発を期待したい。



演題：「組み込みソフト産業振興等における産学連携事例」

講師：西日本電信電話株式会社 代表取締役副社長
大竹 伸一 氏

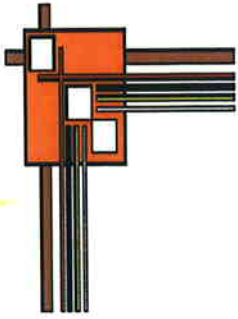


- 北梅田ロボットシステムでも、また組み込みソフトによりできるシステムは一般に大規模・複雑となるので、このシステムの信頼性技術が重要となる。単一のソフトだけでなく、SE についての研究が必要と思われる。
- 関西が組み込みソフトの拠点になることを楽しみにしています。関西が盛り上がるようがんばっていきたいです。
- 組み込みソフト産業の集積地として関西を底上げするという提言には大いに賛同したい。

【事務局から】

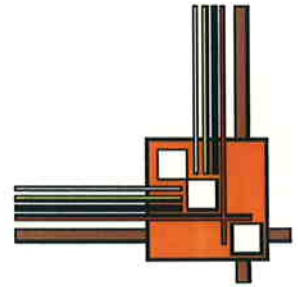


- 講演会の御案内は、メール配信及び WWW—KARC のホームページ (www-karc.nict.go.jp/ACnet)で行っています。
- 会員名簿情報に変更がある場合は、その都度事務局までお知らせください。
〒 651-2492 神戸市西区岩岡町岩岡 588-2
独立行政法人 情報通信研究機構 未来 ICT 研究センター内
TEL 078-969-2132 FAX 078-969-2119
E-mail [acnetjimukyoku\(atmark\)po.nict.go.jp](mailto:acnetjimukyoku(atmark)po.nict.go.jp)



情報通信技術研究会(AC・Net) 第168回例会のお知らせ

兵庫県先端情報通信技術推進会議共催



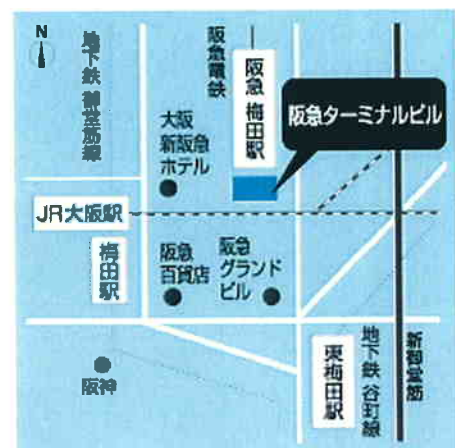
情報通信技術研究会
運営委員長 益子 信郎

記

1. 日 程 2007年9月28日(金)
2. 会 場 阪急ターミナルスクエア・17
〒530-8310
大阪府大阪市北区芝田 1-1-4
TEL. 06-6373-5790
3. 講演会&パネルディスカッション 15:00~17:00 「ふじの間」
「ローマ・クラブモデルを超えて」
同志社大学 工学部 教授
下原 勝憲 氏
「環境と人間のシミュレーションモデル構想とその具体化」
会津大学 コンピューター理工学部 教授
小佐野 峰忠 氏
4. 懇親会 17:15~18:30
「さつきの間」
5. 会場までのご案内

<交通>

阪急梅田駅上 阪急ターミナルビル17F



宛先：情報通信技術研究交流会（AC・Net）事務局
（E-mail acnetjimukyoku@po.nict.go.jp ・ FAX: 078-969-2119）

2007年 月 日

9月28日（金）第168回 AC・Net 例会講演会参加申込書

共催：兵庫県先端情報通信技術推進会議
協賛：けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会

会場： 阪急ターミナルスクエア・17
〒530-8310 大阪府大阪市北区芝田 1-1-4
TEL. 06-6373-5790
（講演会「ふじの間」/懇親会「さつきの間」）

例会講演会 & パネルディスカッション：

講演1：「ローマ・クラブモデルを超えて」
同志社大学 工学部 教授
下原 勝憲 氏

講演2：「環境と人間のシミュレーションモデル構想とその具体化」
会津大学 コンピューター理工学部 教授
小佐野 峰忠氏

下記の通り参加を申し込みます。

	講演会 & パネルディスカッション 15:00～17:00	懇親会 17:15～18:30
該当部に○		
氏名		
所属		
種別	AC・Net会員	けいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会会員
		非会員

例会無料。懇親会 AC・Net法人・大学会員 1000円、個人会員無料、非会員2000円(会場徴収)

・その他事務局への連絡事項

・今後の講演でご希望(講師・テーマ)等があればお書き下さい